

10. 2016年度日本数学会賞建部賢弘 賞の授賞について

第21回にあたる本賞の2016年度授賞者の推薦募集は、会報159号で行いました（「数学通信」第20巻第3号）。受賞者と業績は次の通りです。（五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです）

特別賞

生駒典久（金沢大理工 准教授）：変分的及び非変分的アプローチによる非線形楕円型方程式の研究

野坂武史（九大数理 助教）：カンドルの代数トポロジーと低次元多様体

山下真（お茶の水女大 助教）：量子群の作用素環論的研究

奨励賞

阿部健（京大 学際融合教育研究推進センター／理学部 KTGU 特定助教）：最大値ノルムによるナヴィエ・ストークス方程式の解析

阿部圭宏（神戸大理 学振 PD）：グラフ上のランダムウォークの被覆時間及び局所時間の精密な評価

大場貴裕（東工大理工 博士課程2年）：接触多様体とそのStein 充填に関する研究

神田遼（阪大理 助教）：グロタンディーク圏のアトム・スペクトラム

北別府悠（京大理 学振 PD）：リッチ曲率が下から押さえられた空間の幾何学

若杉勇太（名大多元数理 学振 PD）：消散型波動方程式の解の漸近挙動に関する研究